

## 調査レポート

# 2019年1~3月期のGDP(2次速報)予測

調査部 主席研究員 小林真一郎

6月10日に内閣府から公表される2019年1~3月期の実質GDP成長率(2次速報値)は、**前期比+0.5%(年率換算+2.1%)**と1次速報値と同じ伸び率となる見込みである。

個別の需要項目では、本日発表された1~3月期の法人企業統計の内容を受けて、設備投資の金額はやや上方修正され、伸び率は前期比+0.5%と1次速報の減少から増加に転じると見込まれる。一方、在庫投資と公共投資が下方修正される見込みであり、実質GDP全体の伸び率に変化はないであろう。

名目GDP成長率も、前期比+0.8%のまま修正はない見込みであり(ただし、年率換算値は+3.3%から同+3.4%に上方修正)、GDPデフレーターについても前年同期比+0.2%のまま据え置かれるであろう。

	2017年 10-12	2018年				2019年 1-3	前期比(%)	
		1-3	4-6	7-9	10-12		1-3 (1次)	変化幅 (%ポイント)
実質GDP	0.3	-0.1	0.5	-0.6	0.4	0.5	0.0	
同 (年率)	1.3	-0.3	2.2	-2.5	1.6	2.1	0.0	
同 (前年同期比)	2.4	1.3	1.5	0.1	0.2	0.8	0.0	
内需寄与度 (*)	0.3	-0.1	0.6	-0.4	0.7	0.1	0.0	
個人消費	0.4	-0.1	0.6	-0.3	0.2	-0.1	0.0	
住宅投資	-3.0	-2.4	-2.1	0.8	1.4	1.1	0.0	
設備投資	0.6	1.2	2.4	-2.5	2.5	0.5	0.8	
民間在庫 (*)	0.1	-0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	-0.1	
政府最終消費	0.0	0.3	0.1	0.2	0.7	-0.2	0.0	
公共投資	0.0	-1.3	-0.7	-1.9	-1.4	0.9	-0.6	
外需寄与度 (*)	0.0	0.1	-0.1	-0.2	-0.3	0.4	0.0	
輸出	2.0	1.0	0.7	-2.0	1.2	-2.4	0.0	
輸入	2.2	0.7	1.0	-1.0	3.0	-4.6	0.0	
名目GDP	0.3	-0.2	0.3	-0.6	0.5	0.8	0.0	
同 (年率)	1.0	-0.8	1.2	-2.5	1.9	3.4	0.0	
同 (前年同期比)	2.4	1.8	1.4	-0.4	-0.1	1.0	0.0	
GDPデフレーター (前年同期比)	0.1	0.5	-0.1	-0.4	-0.3	0.2	0.0	

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度  
(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

主な需要項目別の動向（実質ベース）は以下の通りである。

- ・ 個人消費、住宅投資は、その後発表された統計を勘案しても、大きな修正はないであろう。
- ・ 民間企業設備投資は、需要サイドの統計である 2019 年 1～3 月期の法人企業統計において、季節調整済みの設備投資（ソフトウェアを除く）が、10～12 月期の前期比+3.9%に対し同+1.1%と堅調な増加が続いており、1 次速報値の前期比-0.3%から同+0.5%に上方修正される見込みである。
- ・ 在庫投資は、1～3 月期の法人企業統計の結果を踏まえると、実質 GDP に対する前期比寄与度では+0.1%から横ばいに下方修正されると考えられる。
- ・ 公共投資は、3 月の建設総合統計が反映された結果、やや下方修正される可能性があるが、1 次速報値の前期比+1.5%に対して同+0.9%と小幅な修正にとどまろう。
- ・ 輸出及び輸入については 1 次速報値からほとんど変更はないとみられ、実質 GDP に対する前期比寄与度も 1 次速報値の+0.4%から修正されないであろう。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。